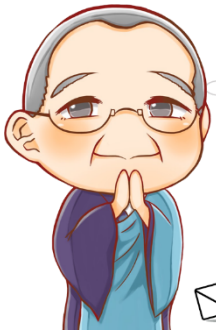
華岳山恩林寺発行

頭陀袋 132

令和５年６月号

写真：十一面観音坐像 海蔵山雲龍寺蔵



お寺へ行こう 和尚さんと友だちになろう

中山かんのん 華岳山 恩林寺
中山中学校下
〒506-0052 岐阜県高山市下岡本町2779
kagakuzan@onrinji.com ☎(0577)34-1245
https://onrinji.com/

かんのんさま（続）

高山は曹洞宗の古刹、雲龍寺の観音さまを訪ねてまいりました。このお寺は飛騨三十三観音第三番として親しまれています。縁起によりますと、鎌倉時代曹洞宗を日本に伝えた道元禅師の教えを広く世に広め、曹洞宗の基盤を作られた瑩山禅師（太祖常済大師と申します）。瑩山禅師は、能登の総持寺を起点に活動されましたので永平寺と並んで曹洞宗の大本山の格式を継承されてきました。瑩山禅師の優れたお弟子が総持寺の塔頭五ケ寺を開かれますが、その筆頭太源禅師の直弟子　了堂真覚禅師が雲龍寺の開山であります。

雲龍寺　鐘楼門（上）と本堂（下）

了堂禅師のお弟子にあたる竹窓智厳禅師は、たまたま高山を訪れ白山社の別当妙観寺が無住になっているのを悲しみ、この寺を再興し曹洞宗に改め雲龍寺としお師匠さまである了堂禅師を開山とされたのです。総持寺は直末である五院から輪住と言って住持様を推挙する制度があり、わかっているだけでも雲龍寺から十二名の和尚様が就任されています。こうした歴史を持つこのお寺は、白山社とのご縁が続いていますので白山社の本地仏、十一面観世音菩薩を当初からお祀りしてありましたが、二度による火災にあい、現在のご本尊は江戸時代の作、と言われています。

また、脇侍には地蔵菩薩、聖観世音菩薩が祀られています。

このお寺は昭和の初め三十一世林孝道和尚は、たくさんのお弟子を育て、また孝道保育園を開設し福祉に貢献されました。

三十三世亀山浩由和尚は庭園の整備に、三十五世亀山浩運和尚は堂宇の再生に尽力され禅苑の雰囲気を一新されました。

お施餓鬼法要について

黄檗宗十八教区（岐阜県）では毎年六月から九月初めまで各寺院持ち回りでお施餓鬼法要を行います。

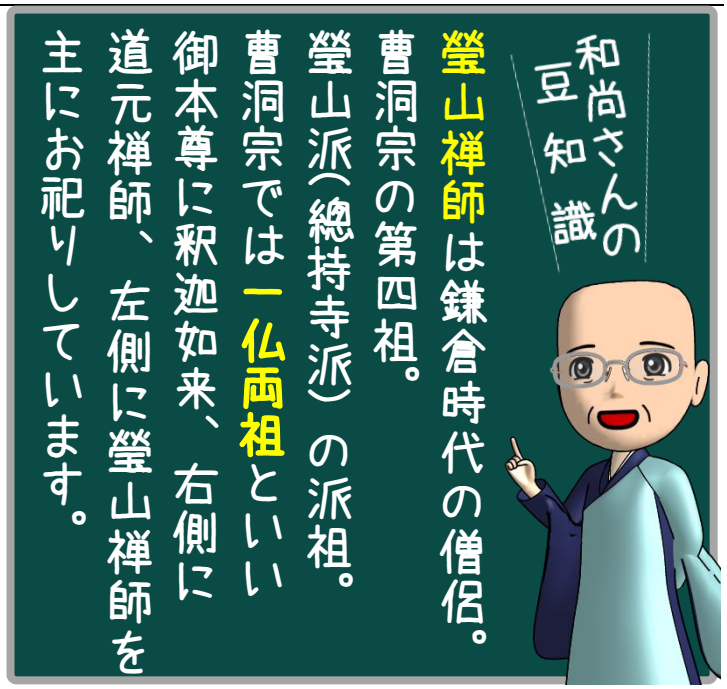
お施餓鬼法要は各お寺の檀家様や、信徒様のご先祖、水子、親戚縁者のご供養を行うものです。

和尚様方の配役がたくさん必要ですので持ち回りでお互いのお寺へ伺いながら法要を務めます。

恩林寺は今年は六月最終日曜日と決まりました。追ってご案内を致します。お誘い合わせの上御参詣下さい。

お施餓鬼法要
六月二十五日（日）十一時
於恩林寺本堂

住職合掌



十一面観音様について

観音菩薩の変化身。頭部に11の顔を持つのが特徴。阿修羅道の衆生を救い導き、利益を与えることが役割とされています。

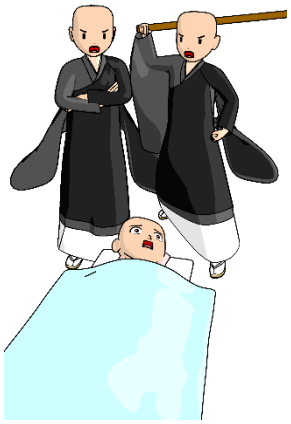
六波羅蜜寺
十一面観音像

【第二章　三節】寝不足生活

萬福寺の五月は数多くの催しがあります。八日の布袋祭や、下旬の「煎茶道大会」という全国の茶道家が集まる行事など多忙を極めるはずだったのですが、コロナの影響で中止となってしまいました。法要を行うにもマスクなどの制限が設けられ、余分な苦労をする羽目になりました。当然、托鉢は叶わず、仏供講会員(檀信徒)さんの元にも行けません。新人である私たちが、唯一門の外へ出られる機会を失い、苦痛を感じていました。朝が早い生活も嫌だった覚えがあります。坐禅中に寝てしまったり、雑草を抜く作務の途中で眠気に襲われたり。先輩に何度も叩かれ、多くの警策(叩く棒)が私の背中で折れていきました。寝てしまう自分が悔しくて、一人こっそりと泣き続けた時期もありました。

中でも一番大きかった失敗は、私を含めた同期全員が寝坊した事。先輩を起こすのも後輩の役目なのですが、反対に起こされてしまいました。先輩の怒声と共に飛び起き慌てて…

朝のお勤め。



一人一本以上、警策が折れるまで叩かれ続けました。

体力乏しい私にとって僧堂での日常生活は厳しいものでした。しかしその体力の無さを補うべく多くの勉強に時間を割き、他の同期に教えられる様にと、法式(法要やお経について)や、仏具の鳴らし方を習得していきました。